

2018 — 2024

# 特集

## 高森の駅とまち

## 南阿蘇鉄道高森駅グランドオープン



今から8年前に発生した熊本地震。この地震により地域公共交通の基軸であり、観光業を支える南阿蘇鉄道は甚大な被害を受けました。高森町は阿蘇地域の創造的復興の一環として、高森駅とその周辺を対象にグランドデザインを作成するため、後世に残る文化的資産の創造と地域の活性化を目指して熊本県が推進している『くまもとアートポリスプロジェクト』に参加しました。その中でまちづくり戦略の3つの柱である、「観光」「防災」「定住」、また「とにかく広いプラットフォーム」をテーマに、住民参画型のワークショップを開催し、様々な観点から出た意見や要望を踏まえた基本方針を定め計画を進めてきました。建設にあたっては国からの社会資本整備総合交付金や地方創生拠点整備交付金、そして全国の皆様からいただいた「ふるさと応援寄附金」等を活用し、高森町の自主財源ゼロでの工事

となりました。今回の交流施設の完成をもって、高森駅周辺の整備が完了し、ついにグランドオープンを迎えました。

### 鉄道を楽しむ駅

ゆるやかな斜面につくられた高森駅には、まちとプラットフォームが段差なく地続きで繋がっているという特徴があります。さらに南阿蘇鉄道は車内改札方式で改札口を持たないため、誰もがプラットフォームに入って列車の送迎をすることが可能なデザインとなっています。新しい高森駅は、まちの人も、鉄道好きも、回廊や建物の窓から鉄道の風景を楽しめるようにつくられています。待合室やラウンジの隅の隅の柱がないのも鉄道をみるためです。

### 基本方針

高森ならではの景観の保全と創造

運行業務を機能的かつ快適に行える駅舎の実現

快適な居場所となる交流施設（ラウンジ）の実現

交通利便性を備えた確かな情報を提供する観光・交通拠点の実現

安全かつ情報が集約された防災拠点の実現



定住

観光

防災



### 高森駅整備のこれまで

